



東陽病院 石田慎一薬剤科長

忘れがちなことなのですが、薬の保管ということは、大事なことなんです。薬が発売されるまでには、色々な状態での保存試験を行い発売されます。薬にとって過酷な条件での試験が行われるので、光の当たらない涼しいところに保管していただければ問題になるようなことは通常はありません。

台紙にも色々な工夫がなされており、解りやすいものは赤い台紙に入ったものです。遮光を目的とした台紙です。そのような台紙にはいつているものは通常、光により変色するか効力が落ちてしまうものです。台紙の工夫だけではなく、錠剤そのものに遮光のための皮のようなもの（剤皮）を施しているものもあります。

インスリン注射液というものがあります。インスリン注射を必要とする糖尿病の患者さんが使用するものなのですが、薬の説明書には遮光して2〜8

健康への

メッセージ

シリーズ 44

クスリの保管

光の当たらない
涼しい場所に。



度には保存とあります（短期間なら室温でも良い）。製品によって保存方法にも差がありますので、詳しいことは薬局窓口で聞いていただきたいのですが、注意していただきたいことが2点程あります。一つは海外旅行にいくときなのですが、インスリン注射液をトランクの中に入れて、飛行機の貨物室にいられたままにしておきますと、インスリンが凍ってインスリンが変質を起すということがあります。飛行機などに乗るときは、手荷物のなかにいれて運んでください。もう一つは車のなかに置きっぱなしにすることです。この場合は車中の異常な温度の上昇でやはり、インスリンが変質してしまいますので避けてください。

人間にとってつらい環境は薬にとってもつらいものなのです。薬は医師が個人個人に合わせて処方したものです。病状が同じだからと他の人にあげたり、自分の勝手な判断で中止したりはしないで下さい。もちろん、薬はいつも良い作用をするとは限りません。目的以外の作用（副作用）を表すこともあります。その時は中止して医師や薬剤師に相談してください。

薬はうまくつかってこそ薬です。

サマーシアター

〈日本アカデミー賞受賞〉

シャル ウィ

shall we

ダンス?

期 日 7月20日（日）
上映時間 1回目 午前10時
2回目 午後2時
定 員 各100名
入 場

ご希望の方は、入場整理券を図書館カウンターでお求め下さい。



ほんの

＝町立図書館＝
☎043311

